

# がまこおり 議会 だより

## 5月市議会臨時会・6月市議会定例会

5月臨時会／議決された主な議案……………	2～ 3
6月定例会／一般質問…ここが論点……………	4～ 9
6月定例会／議決された主な議案……………	10～ 12
委員会通信……………	13
9月定例会予定等……………	14

NO. 99  
2018.8



ダイナミックにジャンプ！／竹島水族館

# 正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会  
議案

5月市議会臨時会は、5月14日、15日の2日間の会期で開きました。  
今議会では、伴 捷文議長、稲吉郭哲副議長を選出し、各委員会の構成などを決めました。また、議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意・承認しました。  
その主な内容をお知らせします。

## 条例の改正

### ●市税条例等の一部改正 (第34号議案)

地方税法等の改正に伴い、個人市民税、法人市民税、固定資産税及び都市計画税、市たばこ税において、所要の改正を行います。

2500万円を超える所得割の納税義務者は、基礎控除の適用がなくなるが、市税への影響額はどれくらいか。

**答** 平成29年度の実績では、合計所得金額が2500万円を超える納税者数は158人です。仮に人数が変わらなければ、市民税は約340万円の増額となります。

**問** 市たばこ税の税率引き上げによる影響額はどれくらいか。

### ●総務委員会での主な質疑 問 前年の合計所得金額が

控除の適用ができなくなり  
ます。また、市たばこ税では、税率を段階的に引き上げ、製造たばこの新たな区分として加熱式たばこが設けられます。



## 5月臨時会の日程

14日	本会議〔会期の決定、議案説明など〕 議会運営委員会 総務委員会
15日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長の選挙、監査委員の選任、委員会委員の選任など〕 全員協議会 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会 国道23号蒲郡バイパス 建設特別委員会

## ●全会一致で同意・承認した議案 (○内の数字は議案番号)

- ③ 専決処分の承認 (市税条例の一部改正)
- ⑤ 監査委員の選任

## その他の議案

### ●監査委員の選任 (第35号議案)

議会選出の青山義明委員の辞任に伴い、後任委員として大竹利信議員を選任することに同意しました。

**答** 市たばこ税に関しては、30年10月1日の税率引き上げでは、製造たばこの一般品の税額が、千本につき430円引き上げられます。

仮に29年度と同等の売り渡し本数としますと、約1800万円の増額となります。

## ●賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	会派・議員名																			
		自由民主党 蒲郡市議団					蒲郡自由クラブ					公明党 蒲郡市議団			無会派						
		大場	伴	喚	大	鎌	竹	青	尾	鈴	広	稲	牧	鈴	伊	松	大	日	来	新	柴
		康	捷	孝	正	篤	滋	義	広	基	昇	郭	泰	貴	勝	昌	竹	恵	本	実	田
34	市税条例等の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※大場康議員は議長職により採決には参加していません。

# 議長に伴 捷文議員 副議長に稲吉郭哲議員を選出

5月15日の議案審議の終了後、大場康議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われ、3名の議員の所信表明の後、投票の結果、伴捷文議員が第65代議長に当選しました。

続いて、大竹利信副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行い、2名の議員の所信表明の後、投票の結果、稲吉郭哲議員が第67代副議長に当選しました。

次に、常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の各委員の選任を行い、それぞれ互選により、正副委員長を決定しました。

各委員会及び各議会議員の構成は、左下の表のとおりです。

**各委員会の内容は**

●常任委員会  
市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○総務委員会  
行政の総合的な企画・調

## 就任 あいさつ



副議長 稲吉郭哲



議長 伴捷文

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは5月市議会臨時会におきまして、多くの議員諸氏のご賛同を賜り、議長・副議長に就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。職務の遂行に全力を傾けるとともに、公正かつ円滑な議会の運営にいつもの努力をまいります。

さて、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、限られた財源の中で少子高齢化、教育、福祉、防災など数多くの事業も行っていかなければなりません。限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に配分し、市民の皆さまの要望を市政に反映させるために市議会の果たす役割は非常に重要です。

そのためには、議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分に認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

区分		氏名 (◎:委員長 ○:副委員長)			
常任委員会	総務委員会	◎鈴木貴晶 青山義明	○尾崎広道 柴田安彦	喚田孝博 大竹利信	竹内滋泰
	経済委員会	◎鎌田篤司 新実祥悟	○広中昇平 牧野泰広	伊藤勝美	伴捷文
	文教委員会	◎鈴木基夫 来本健作	○大向正義 松本昌成	大場康議 稲吉郭哲	日恵野佳代
議会運営委員会	◎竹内滋泰 大向正義	○牧野泰広 鈴木貴晶	鈴木基夫 大竹利信	喚田孝博	
国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会	◎大場康議 青山義明	○来本健作 牧野泰広	伊藤勝美 柴田安彦	大向正義 鈴木貴晶	
蒲郡市幸田町衛生組合議会	伊藤勝美 大向正義	伴捷文 鎌田篤司	尾崎広道 牧野泰広	広中昇平	
東三河広域連合議会	伊藤勝美	広中昇平	喚田孝博		

整、財政、財産、消防、監査委員、選挙管理委員会に關することなど。他の委員会に属さないことは総務委員会に担当します。

●経済委員会  
観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、下水道、区画整理、ポータル事業など。

○文教委員会  
市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

●議会運営委員会  
円滑な議会運営のために置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会  
市街地の交通渋滞緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。





# 一般質問…ここが論点

6月市議会定例会中、6月13日、14日、15日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
6月13日(水)	伊藤勝美	<a href="#">災害時におけるテント泊及び車中泊</a> <a href="#">避難所の国際基準である「スフィア基準」</a>
	大向正義	<a href="#">蒲郡市の意思決定</a> 蒲郡市の教育 <a href="#">発達障害とその支援策</a>
	鎌田篤司	<a href="#">市民病院</a>
	竹内滋泰	<a href="#">市民病院の安定経営</a> <a href="#">新市民体育館建設候補地選定の総括</a>
	鈴木貴晶	<a href="#">学校給食</a> <a href="#">eスポーツ</a>
6月14日(木)	青山義明	<a href="#">上ノ郷城跡</a> <a href="#">保育園のエアコン設置</a> <a href="#">外来種の駆除</a>
	尾崎広道	<a href="#">土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域</a> まちづくり <a href="#">市役所の駐車スペースの確保</a>
	大場康議	<a href="#">市民の健康づくり</a> <a href="#">地域公共交通網形成計画</a>
	来本健作	<a href="#">ハラスメントの実態と対策</a>
	柴田安彦	<a href="#">公共施設の今後</a>
	喚田孝博	駅南土地区画整理事業 <a href="#">第3次障害者計画</a>
6月15日(金)	日恵野佳代	<a href="#">市内どこでも巡回バスを</a> <a href="#">多様性を尊重する蒲郡をめざして</a> 野生の鳥への対応 公共施設マネジメント
	鈴木基夫	蒲郡市の現状 次世代産業の育成と強化 <a href="#">ヘルスケア計画</a>
	松本昌成	地方公会計の活用に向けて <a href="#">中小企業に対する支援策</a> <a href="#">スマートフォンなどによる市民通報システムの構築</a>
	新実祥悟	ボートレース蒲郡 <a href="#">第五次総合計画</a>
	広中昇平	下水道整備計画 <a href="#">予防接種</a> <a href="#">新教育長の教育への取り組み指針</a>
	牧野泰広	<a href="#">児童発達支援センター</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。



伊藤勝美 (公明党市議員)

災害時における車中泊及びテント泊について

**問** 災害時における車中泊とテント泊について、市民への周知をどのように考えているか。

**答** 建物の倒壊等から身を守るため車中泊、テント泊を選択するケースが増えており、衛生面や健康面、ライフラインの確保等の課題がある。家具の固定化など自宅での備えの大切さを周知するとともに、車中泊、テント泊については、市民意識調査により防災意識の実態を把握したい。

避難所の国際基準「スフィア基準」について

**問** 避難所のトイレには、建物や避難者の特性を考慮したルールが必要と考える。避難者20人に1基、女性用は男性用の3倍必要というスフィア基準を当てはめて、トイレの衛生対策を考えてはどうか。

**答** 内閣府のガイドラインやスフィア基準を参考に、きれいで使いやすい避難所トイレにしたい。

大向正義 (自民党市議員)

蒲郡市の意思決定について

**問** 市は、新市民体育館建設は議会の理解が得られず進まないと言っているが、市が建設地について説明責任を果たさず、誤った意思決定をしたためだと考える。その責任をどのように取るのか。

**答** 建設地に関して誤った意思決定を行ったとは考えていないが、議会で当



現在の市民体育館

児童発達支援センターに対する協力体制は

初予算が修正されたことは重く受け止めている。現体育館の耐震・長寿命化により確保した時間でじっくりと検討し、議会から理解の得られる建設地を提案したいと考えている。

**問** どのような協力が市民病院としてできるのか。

**答** 児童発達支援の中心的な役割を担うのは福祉と教育であり、医療の役割は側面からの支援と考える。今後、どのような協力が市

民病院としてできるか検討していきたい。

鎌田篤司 (自民党市議員)

市民病院について

**問** 平成30年度当初の医師数と今後の医師の採用活動への考えを伺う。

**答** 研修医を除く常勤医師数は45名、教員として名古屋市立大学から派遣された3名と最高経営責任者を含めて49名体制となり、全診療科で入院を受け入れられる体制が整った。今後は、医師50名体制を目標に、名古屋市立大学を中心に県内の大学医局からの派遣をお願いしていく。

**問** 今後の経営のあり方をどのように考えるか。

**答** この地域の基幹病院として、救急医療体制を確保し、市民の健康を守っていく。それに加えて、病床稼働率70%以上と経営の健全化、収支の黒字化を達成したいと考えている。

**問** 最新医療や先進医療にどう取り組んでいくか。

**答** 先進医療や最新医療の提供を既に始めている。皮膚科の白斑を含めた再生医療などについても、大学と連携しながら積極的に取り組んでいきたい。

竹内滋泰 (自民党市議員)

東三河南部医療圏での連携は

**問** 市民病院と東三河南部医療圏内の病院との連携をどのように考えるか。

**答** 引き続き民間事業者を含めた病院同士の連携をしながら、特に医師派遣



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

の主たる医局を同じ名古屋市立大学とする豊川市民病院や、三次医療機関である豊橋市民病院との機能分化と関係強化を、これまでと同様に図っていきたい。

### 新市民体育館建設候補地選定の総括について

**問** 建て替えから耐震化に方針転換した理由について伺う。

**答** 現在の体育館の安全性を考えると、市民の命を守るため、耐震化と長寿命化を図ることが先決と判断した。

**問** 今後、新体育館の建設をどのように考えるか。

**答** 将来のまちづくりを見据え、これまでいただいた意見を参考に、公共施設マネジメントも視野に入れ、検討すべきと考える。

### 鈴木貴晶（自由クラブ）

#### 残食率の公開を

**問** 神奈川県厚木市等では、残食率をホームページ



学校給食センターでの調理の様子

で公開している。学校ごとに把握している残食率を公開することで関心が高まると考えるが、どうか。

**答** 県が行っている学校給食における食育の推進に関する調査の結果は、県から公開してもよいとの回答を得ているので、県内平均や市の残食率をホームページで公開していきたい。

### eスポーツ大会の開催を

**問** ネット上で盛り上がりつつあるeスポーツに対する市の認識は。また、ボートレース蒲郡などで大会を開催することはできるか。

**答** 認識としては、eスポーツという言葉を最近見聞きする程度である。また、大会の運営規模にもよるが、ボートレース蒲郡のほかにも、市民会館やナビテラス程度の規模の施設でも開催場所としての検討は可能であると考ええる。

### 青山義明（自民党市議団）

#### 上ノ郷城跡の土砂崩れ対策は

**問** 上ノ郷城跡は重要な史跡であり、私有地だが、市が保存すべきと考える。市はどのような土砂崩れ対策ができるのか。

**答** 土地所有者が主体となり、対応していただくこととなる。市からは、史跡の保存に要した経費の4分の1以内の範囲で補助金を交付することができる。

### 保育園のエアコン設置は

**問** 今後の計画について伺う。

**答** 平成32年までに生産中止となる冷媒フロンガスが使用されている既設エアコンの更新を最優先に行っている。

### 外来種の駆除について

**問** 外来種の捕獲状況について伺う。

**答** 29年度は、アライグマ14匹、ハクビシン17匹を捕獲した。

### 尾崎広道（自由クラブ）

#### 土砂災害警戒区域内の警戒喚起について

**問** 土砂災害の危険性については、住民への周知が大切であり、住民説明会を実施すべきと考えるが、市の考えは。

**答** 広報配布時に洪水・土砂災害ハザードマップを全戸配布し、警戒区域内の住民を対象に中学校区ごとに地域別説明会を開催する。



上ノ郷城跡



新たに作成された洪水・土砂災害ハザードマップ



で市役所内に設置することも考えている。

### 市役所の駐車スペースの確保について

**問** 市役所駐車場混雑時に近隣他施設の駐車場を共同利用してはどうか。

**答** 平日に会議等が重なるときについては、近隣の市民体育センター駐車場の利用を案内することを検討したい。

### 大場康議（自民党市議団）

### 運動サポートセンターの現状と今後について

**問** センターの利用状況と今後の利用促進策は。

**答** 平成29年11月から30年5月までの利用者数は、延べ2572人である。土曜日の利用と50代以下の利用が少ない傾向があるので、市内の企業等に出向き、周知と利用勧奨を行っている。また、特定健診結果の通知にあわせた利用勧奨や医療機関等への周知も行っている。



運動サポートセンター

### 交通空白地解消に向けた取り組みは

**問** 高齢化の進行により高齢者の運転免許証の自返納数の増加が予想される。コミュニティバスの早期運行に対する考えは。

**答** 運行に向けた検討を東部地区で継続するほか、30年度には大塚地区など3地区で説明会を開催した。今後の協議次第ではあるが見込みのついた地域で31年度中の運行ができるよう、予算措置を含めた準備を進めていきたい。

### 来本健作（無党派）

### 市役所内のハラスメントの実態と対策は

**問** 庁外部署を含めた相談件数、内容は。

**答** 平成25年度から30年度までに7件の相談があった。全てパワハラに関する内容で、うち5件が庁外部署での案件だった。

**問** 相談体制と対応策について伺う。

**答** 24年1月からは、男女各1名の職員相談員を選任し、29年7月からは弁護士資格を持つ外部相談員も設け、相談しやすい制度



に見直しを進めている。

相談があると、相談員と人事課長で事実関係を調査し、職場の改善、職員への指導等を行う。また、必要に応じてハラスメント苦情処理委員会が調査し、対応措置が協議され、その結果に基づく処分も検討される。

**問** どのような防止策が行われているか。

**答** 管理職に対して研修を実施し、チェックノートを配布している。また、相談制度を定期的に周知し、防止に努めている。

### 柴田安彦（無党派）

### 公共施設の今後は

**問** 公共施設白書での公共施設の維持更新にかかる将来費用の試算で、市民病院の建て替え費用は約102億円だが、現市民病院の建設費用は約205億円である。実際にかかった費用と比較して約半額であり、現実的な算定数値にすぎないか。

**答** 建て替え費用の単価は、どの施設も一律に1㎡あたり30万円としているが、今の規模を維持しないという方針ではない。現実的な数字でないことは承知しているが、建て替え時の経済状況等により変わるので、厳密な積算は意味がない。

**問** 公共施設マネジメント実施計画の見直しの際に、それぞれの施設に適した単価を使用して、再計算をすべきではないか。

**答** 実施計画では、社会状況や経済状況の変化に対応した計画の見直しを5年ごとに行うことになっており、その際には、見直し



をしていきたいと考えている。

**喚田孝博**（自民党市議員）

### 第3次障害者計画の

#### 重点・新規事業について

**問** 地域生活支援拠点等の整備について伺う。

**答** 障害の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じて、平成32年度末までに整備することを目標としている。

**問** 就労定着支援の充実、市役所の障害者の雇用率と今後の取り組みについて伺う。

**答** 障害者の雇用促進等を支援する機関が加わっている就労ワーキンググループを通じて、また、障がい者支援センターとも連携を密にし、就労定着支援事業所の確保に努めたい。

また、30年6月1日現在の実雇用率は、約2・2%で法定雇用率を下回っている。今後は、募集回数を増やしたり、採用条件等の見直しを検討する。



あじさいくるりんバス

**問** 手話言語・障害者コミユニケーション条例についての市の考えは。

**答** 市独自の条例制定は、当事者等の意見を聞き、今後研究していく。

**日恵野佳代**

（無党派・日本共産党）

#### 市内どこでも巡回バスを

**問** 全国では、65歳以上の4分の1、75歳以上の3分の1の人が家の近くに食料品店がなく、車を利用できない買い物弱者といわれている。買い物弱者を救うという観点から公共交通を考えるべきではないか。

**答** コミュニティバスの説明会を開いた地区からも、そのような意見を聞いている。いろいろな施策の中で考えていきたい。

#### LGBT（性的少数者）の人権を守る市政を

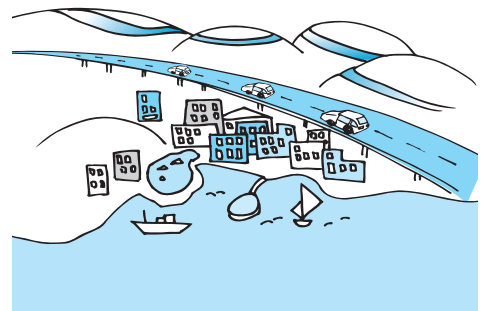
**問** 正しい知識を学ぶことが重要であり、市職員や教職員への研修が必要だと考えるが、対応は。

**答** 性の多様性を学び、差別、偏見のない公平・公正な対応ができるように市職員研修を平成30年度に予定している。教職員については、さまざまな研修の中で、LGBTを人権教育の課題と位置づけ、まず教職員が知ることから始め、理解を深めていきたい。

**鈴木基夫**（自由クラブ）

#### ヘルスケア計画の課題と今後について

**問** 再生医療等のヘルスケア産業がこれからの主要産業として期待される。ヘルスケア計画の現状とそ



の課題について伺う。

**答** ヘルスケア計画には2つの基本方針がある。「市民の健康・予防と早期発見・回復」では、健康がまごおり21計画に基づき健康づくり事業を実施している。「再生医療等のヘルスケア産業の育成・集積」では、ラゲーナ蒲郡地区を産業が集積され、雇用を生み出す新たな成長拠点と捉え、ヘルスケア基本計画に基づきヘルスケア産業の育成・集積を目指しているが、愛知県地域医療構想の方針もあり、現在のところ事業者誘致には至っていない。

**問** ヘルスケア産業の育成・集積について、今後の取り組みは。

**答** 引き続きラゲーナ蒲郡地区への企業誘致の可能性を模索するため、土地所有者と協力して、事業者との意見交換や優遇施策の検討などを行っていきたい。

**松本昌成**（公明党市議員）

#### 市内事業者向け支援の相談窓口について

**問** 市内事業者向けに総合的な支援をしてくれる相談窓口の状況は。

**答** 高度で特殊な相談の問い合わせがあった場合は、あいち産業振興機構等を紹介しているが、一歩身近な相談窓口は、蒲郡商工会議所である。さまざまな





支援を活用してもらうためにも、支援策や相談先の広報・周知に努めていきたい。

### 市民通報システムの構築について

**問** スマートフォンなどを活用した市民通報システムの構築に対する考えは。

**答** 利用する市民や職員が使いやすいシステムで、まずは件数の多い道路の損傷等に関する通報システムを構築しながら、非常時でも使えるようなものを検討していきたい。個人情報保護等の課題への対応もあるが、最新のITシステムや他市の先進事例等も調査しながら、独自システムの構築を検討していきたい。

### 新実祥悟（無党派）

### 第五次総合計画の策定は

**問** 策定に必要な期間について伺う。

**答** 平成30年度下半期から策定体制の立ち上げや計画の評価を行う準備に取

りかかりたい。31年度から本格的なワーキングや審議会等の議論を重ねて基本構想、基本計画を検討し、32年度末に策定というスケジュールを考えている。

**問** 組織や人員の配置についての考えは。

**答** 一部の職員だけではなく、全庁的に取り組める体制や方策を検討し、市民参加型で計画を作り上げるための組織を整えていきたい。

**問** 市民参加について、具体的な考えがあるか。

**答** 市民意識調査などの間接的な参加手法だけではなく、市民のニーズや意見を的確に反映し、市民がまちづくりの主体的に取り組む意識を醸成するために、直接意見を言える機会を

きるだけ設け、今後10年間の本市の方向性を市民と一体となって作っていきたい。

### 広中昇平（自由クラブ）

### 予防接種について

**問** 予防接種の履歴は母子手帳で確認できるが、多くの人は手元になく、履歴などの病気にかかったかも覚えていない。そこで、全ての予防接種終了後、履歴を通知する事業を始めてはどうか。

**答** 通知を行うには課題があるが、接種履歴の把握に加え、健康意識の向上と健康づくりにつなげていけるよう、効果的な方法を調査、研究していきたい。

### 新教育長の教育への取り組み指針について

**問** 教員の過重労働対策として、部活動の見直し、シルバー人材の活用について伺う。

**答** 部活動については、活動時間等の方針を盛り



込んだ「蒲郡市の部活動指導の指針」を年度末までに作成する。シルバー人材の活用など人的支援については、問題意識は持つており、他市の状況も参考にし、支援方法を考えていきたい。

### 牧野泰広（自由クラブ）

### 発達支援に対する考え方は

**問** 小中学校における特別支援の現状は。

**答** 在籍する学級にかかわらず、特別な支援の必要な児童生徒に個別の教育支援計画と指導計画を作成して、日々の教育活動を行っている。

**問** 開設予定の福祉型児童発達支援センターを医

療型で整備して、市民病院長には、センター長に就任してほしいし、今後も市と何らかの形で関わってほしい。院長の思いは。

**答** 児童発達支援の中心的な役割を担うのは福祉と教育であり、医療はあくまでも側面支援であると考えている。センターの設置により療育の裾野が広がることは早期の発見・治療、二次障害予防の観点から喜ばしいことである。センター長就任の話はありがたいが、今後は、緊密な連携を図りながら、センターを支援する立場で外来スタッフとともに医療面から未来ある子どもたちのために力を尽くしていきたい。



第四次蒲郡市総合計画



# 市税条例の一部改正などを議決

6月市議会定例会は、6月13日から25日までの13日間の会期で開き、議案12件を審議しました。市税条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

## 6月定例会 議案

### 条例の改正

#### ●市税条例の一部改正

##### (第36号議案)

地方税法の改正に伴い、中小事業者等が生産性向上特別措置法に規定する認定先端設備等導入計画に従って取得した一定の機械装置等について、新たに固定資産税が課されることになった年度から3年度間は、固定資産税の課税標準をゼロとする特例措置（わがまち特例）を導入します。

##### ●総務委員会での主な質疑

問 課税標準をゼロから2分の1までの間で、市町村が定めた割合に軽減することができると、本市が課税

標準をゼロにする理由は、

答 課税標準をゼロにする特例措置をした地域にある事業者が、国の各種補助金を申請したときに、その特例を加味した優先採択が行われます。また、近隣市町村も課税標準をゼロとする意向であるため、企業誘致において本市が不利になることがないように、課税標準をゼロにします。

##### ●本会議での主な論点

賛成固定資産税が一時的に賦課・徴収できない期間が発生するが、なにより中小事業者に新たな設備投資をこの機会にしていたく、こ

反対全国の自治体がほとんど課税標準をゼロにしており、企業の優遇合戦で固定資産税の減らし合いをしている。中小企業等が力を発揮でき、新規起業を促す支援、セーフティネットの整備が必要である。

#### ●下水道受益者負担金の新負担区、単位負担金額の設定

##### (第37号議案)

公共下水道事業計画区域内における事業の進捗に伴い、新負担区と単位負担金額を設定します。

新負担区として、豊岡第2、平田、清田、竹谷東、竹谷西、鹿島、金平、形原第3、西浦西を追加し、単位負担金額は430円です。

##### ●経済委員会での主な質疑

問 受益者負担金とは、どのようなものか。また、毎年賦課されるのか。

答 公共下水道を計画的に建設するための財源の一部として、下水道が整備されることによって利益を受ける方に、建設費の一部を負担していただく制度です。賦課については、その土

地に対して1回だけです。

#### ●国民健康保険税の課税限度額等の引き上げ

##### (第38号議案)

地方税法施行令の改正等に伴い、国民健康保険税の医療分に係る課税限度額を58万円に引き上げます。これに伴い、5割及び2割軽減対象世帯に係る被保険者均等割額及び世帯別平等割額の軽減判定所得の算定基準額を引き上げ、軽減対象世帯を拡大します。また、マイナンバーを活用した情報連携により、特例対象被保険者の減免手続きが簡素化されます。

##### ●文教委員会での主な質疑

問 今回の改正により、課税限度額を超える世帯数は何世帯になるのか。

答 244世帯から213世帯になります。

##### ●本会議での主な論点

賛成課税限度額の引き上げにより、課税限度額を超える者の負担は増えるが、中低所得者への負担は減ることになる。あわせて、低所得者世帯の軽減を拡大するものである。

6月定例会で議決された平成30年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第1号)	財政調整基金積立金	310万円	292億6,847万 1千円
	国民健康保険事業特別会計繰出金	△545万6千円	
	生活保護システム改修委託料	445万5千円	
	道徳教育研究指定校事業費	20万円	
	キャリアコミュニティプロジェクト事業費	50万円	
	教育文化振興基金積立金	500万円	
	海の学び・生涯学習プロジェクト事業費	29万4千円	
	竹谷運動広場撤去工事費	381万円	
市民体育館耐震・長寿命化等調査事業費	1,468万7千円		
国民健康保険 事業特別会計 (第1号)	財源補正 国民健康保険税 一般会計繰入金 545万6千円 △545万6千円	0	75億6,580 万円
公共用地対策 事業特別会計 (第1号)	一般会計繰出金	310万円	1億4,050 万円
病院事業会計 (第1号)	資本的支出 医療器械備品購入費	7,300万円	12億2,580 万円

**反対** 国保税は、国・県・市が繰り入れを増やして、税額を低く抑え、国保は命を守る制度とすべきである。また、減免手続きにマイナンバーを活用することに賛成できない。

●放課後児童クラブ  
支援員の基礎資格を拡大  
(第39号議案)

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、専門職大学の前期課程を修了した者

及び中卒者で5年以上放課後児童クラブの補助員を経験した者は支援員になれる



陳情

- 最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択
- 適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択
- すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択
- 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実に求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択
- 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択
- 沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書  
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
代表 樽松 佐一  
審査結果 不採択

ようになります。

●文教委員会での主な質疑  
問 どのような人が支援員になっているのか。  
答 保育士や幼稚園・小中学校の教諭資格を有する者のほか、高卒者で2年以上放課後児童クラブの補助員を経験した者も支援員になっています。

問 高校を卒業していない補助員は、いるのか。  
答 本市には、いません。

●本会議での主な論点  
賛成5年の間に実践で多く

のことを学び、その間に各種研修等も受講するとのことなので、支援員の基礎資格を有する資質がある者と考える。

反対 市長に認められて支援員になれるのであれば、これまで支援員の基礎要件を担保していた保育士や教諭など有資格者の規定が無意味になってしまふ。

●議員定数を定める条例の一部改正を否決  
(議員提出第1号議案)

次の一般選挙から、市議会議員の定数を現在の20人から18人に改める条例改正案が議員提案され、賛成少数で否決されました。

●本会議での主な質疑  
問 提案理由にある「諸般の情勢」とは何か。  
答 人口減少、税収不足の中、議員定数も削減しなければならぬ状況を指しています。

問 議会のチェック機能の強化が求められているが、定数削減はそれに逆行する



# 議 会 日 誌

4月6日から6月25日

## 4月

- 18日 議会運営委員会理事会
- 27日 議会運営委員会理事会

## 5月

- 7日 5月臨時会招集告示
- 10日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会  
議員親睦会理事会
- 14日～15日 5月臨時会
- 15日 議員親睦会総会  
正副委員長会議
- 18日 総務委員会
- 22日 経済委員会
- 24日 文教委員会
- 31日 議会運営委員会理事会

## 6月

- 4日 6月定例会招集告示  
議案説明会
- 7日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会
- 13日～25日 6月定例会
- 25日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

のではないかと。答 各議員がその資質を向上させながら、議員活動を行うべきだと考えます。

●本会議での主な論点  
賛成今後、人口減少、税収不足により市民に一定の負担を強いいるが、議員が率先して範を示す必要がある。

反対県内の他市と比較して、本市の議員定数が特に多いわけではない。本市の抱える諸課題の解決策を定数削減ではなく、議会としての機能を発揮することに求めらるべきである。

反対議員の数が少なくなる、と、それだけ市民の声を市政に届けられなくなってしまう。

反対定数削減の理由を経費

節減に求めることに同意できない。議員報酬の見直しなど、定数削減よりも先に行うべき方策がある。

その他の議案  
●工事請負契約の締結（企業用地造成工事）  
（第42号議案）

柏原町亀山ほか地内で企業用地の造成工事を行うため、株式会社石川組と工事請負契約が締結されます。契約金額は3億3910万9200円で、6社による一般競争入札により決められました。

工期は、契約締結日の翌日から平成32年8月31日までです。

### ■ 全会一致で可決した議案 (○内の数字は議案番号)

- ③7 東三河都市計画蒲郡下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- ④0 人権擁護委員の候補者の推薦
- ④1 市道の路線認定、廃止及び変更
- ④5 平成30年度公共用地対策事業特別会計補正予算（第1号）
- ④6 平成30年度病院事業会計補正予算（第1号）

### ■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団											蒲郡自由クラブ				公明党 蒲郡市議団		無会派			
		大場康議	伴捷文	喚田孝博	大向正義	鎌田篤司	竹内滋泰	青山義明	尾崎広道	鈴木基夫	広中昇平	稲吉郭哲	牧野泰広	鈴木貴晶	伊藤勝美	松本昌成	大竹利信	日恵野佳代	来本健作	新実祥悟	柴田安彦	
36	市税条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	国民健康保険税条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	工事請負契約の締結（企業用地造成工事）	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成30年度一般会計補正予算（第1号）	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出1	市議会議員の定数を定める条例の一部改正	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●

※伴 捷文議員は議長職により採決には参加していません。

# 委員会通信

## 3常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中・下旬に開催され、関係部署の所管事務の概要説明を受けるとともに、管内視察を行いました。

総務委員会は5月18日に開かれ、消防署西部出張所、ラグーナ蒲郡地区を視察し

ました。

経済委員会は5月22日に開かれ、臨港道路海陽3号線、柏原町の企業用地開発予定地、三河港蒲郡ふ頭11号岸壁を視察した後、ボートレース蒲郡での説明及び施設見学を行いました。

文教委員会は5月24日に開かれ、障がい者支援センター1、蒲郡中学校の体育大会、ソフィア看護専門学校を視

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《1月》

- 23日 沖縄県嘉手納町／防災対策
- 26日 長野県小諸市／定住促進事業
- 31日 広島県呉市／財政健全化改革チャレンジ計画

### 《2月》

- 9日 岐阜県飛騨市／地方創生
- 14日 京都府綾部市  
／蒲郡いきいき市民健康づくり事業

### 《5月》

- 29日 大阪府柏原市  
／蒲郡いきいき市民健康づくり事業

### 《7月》

- 2日 宮崎県延岡市／定住促進事業
- 3日 岡山県玉野市／ボートレース蒲郡



三河港蒲郡ふ頭11号岸壁を視察する経済委員



消防署西部出張所で説明を受ける総務委員

察した後、市民病院での説明及び院内の見学を行いました。



障がい者支援センターで説明を受ける文教委員

## 山村都市交流拠点施設整備について

6月18日に開かれた総務委員会において、設楽ダム建設同意に係る確約事項に基づき整備する山村都市交流拠点施設の用地取得について、報告がありました。

用地取得に際しては、豊川下流域5市を代表して、豊橋市が先行取得を行いました。取得面積は5万8506㎡、取得費用は1億4685万円です。

今後、残土の搬入及び整備地、建設工事を進め、施設

は平成38年度に完成する予定です。

## 第2期データヘルス計画の策定について

6月20日に開かれた文教委員会において、平成30年度から6カ年を計画期間として策定する第2期データヘルス計画について、報告がありました。

第2期計画の重点施策として、①特定健診受診率及び保健指導終了率の向上、②特定保健指導における連携強化、③生活習慣病重症化予防対策の強化、④若い世代からの健康管理及び健康づくりの推進、⑤医療費の適正化を定めました。

医師会、歯科医師会、薬剤師会などの関係機関と連携して保健事業を実施し、中間年度と最終年度の目標数値の達成状況を分析・評価します。

その結果からPDCAサイクルに沿った見直し、優先課題や新たな目標設定を考え、次年度の保健事業に反映させていく点が第2期計画の特色です。

### 9月定例会予定

9月市議会定例会は、9月6日(木)に開会する予定です。

詳しい日程は、8月30日(木)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載しますので、そちらにアクセスしていただき、新着情報欄をご確認ください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。

### 全国市議会議長会 会長から表彰、感謝状

5月30日に開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、伴 捷文議員、来本健作議員、喚田孝博議員が15年以上、市議会議員として市政の発展に尽

力された功績に対し、栄えある表彰を受けられました。また、大場康議議員が全国市議会議長会理事として、議長会の使命達成に尽力された功績に対し、感謝状を受けられました。

### 東三河広域連合議会

5月31日に東三河広域連合議会5月臨時会が豊橋市で開かれました。

議長に蒲郡市の広中昇平議員、副議長に豊橋市の鈴木道夫議員が当選しました。

また、監査委員には設楽町の熊谷 勝議員を選任しました。

### 議会だよりは点字版、 テープ版・CD版も 発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



こちら編集委員会  
66-1169

6月18日の大阪府北部を震源とする震度6弱の地震、平成30年7月豪雨により、甚大な被害が発生しました。災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

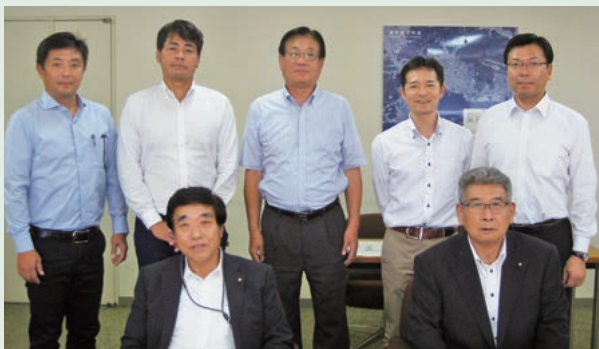
防災対策は自助で7割が決まるといわれています。各家庭での飲料水等の備蓄、家具の耐震補強、避難場所と経路の確認など、防災を常に自分の問題ととらえて、平時に入念な備えをしておくことが最も大切です。この地方でも、いつ地震や風水害などの災害が発生してもおかしくありません。市議会としても、市民の皆様の暮らしを守るために具体的な政策提言を行い、しっかりと防災対策に取り組んでまいります。

本年度は、議員任期最後の1年です。各議員の一般質問の内容や議案・請願等の審査、各委員会の活動などを分かりやすく伝え、充実した誌面作りにより議会だより編集委員一同、取り組んでまいります。どうぞよろしくお祈りします。

#### [議会だより編集委員]

- ◎牧野 泰広 ○竹内 滋泰 鈴木 基夫
- 喚田 孝博 大向 正義 鈴木 貴品
- 大竹 利信

(◎：委員長、○：副委員長)



私たちが編集委員です。

### 今月の表紙

## 竹島水族館

皆様ご存知の竹島水族館です。平成30年1月1日にリニューアルオープンし、連日大勢の来場者で賑わっています。迫力満点の愉快的アシカショー、ゆるくてかわいいカピバラショー、飼育員手書きのユニークな解説、珍しい深海魚の展示など魅力いっぱいです。

